

会議議事録

会議名	2021 年度第 1 回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会
開催日時	2021 年 7 月 5 日 (月) 15:00~17:00
場所	本校 403 教室
出席者 (敬称略)	<p>1. <u>外部委員</u>：計 2 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篠原陽子 (一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 ヘルス・アンド・ビューティケア人材育成センター事務局長) ・三上真理子 (株式会社ツルハ人材採用部係長) <p>2. <u>本校委員</u>：計 5 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋本正樹 (校長) ・中村博臣 (くすり・調剤事務科学科長) ・渋谷大樹 (くすり・調剤事務科教員) ・結城久美子 (くすり・調剤事務科教員) ・宮下明久 (事務局参与) <p>3. 事務局：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土屋瑠美子 <p style="text-align: right;">(合計 8 名)</p>
欠席者	なし
配付資料	<p>事前送付：</p> <p>(1)資料 1：2020 年度第 2 回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会議事録</p> <p>(2)資料 2：前回委員会以降の主な経過報告 別添 A：2020 年度後期授業アンケート結果、</p> <p>(3)資料 3：2022 年度カリキュラム表 (案)</p>
委員長	中村学科長
議題等	<p><u>議題 1</u>：「校長挨拶」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋本校長より、新型コロナウイルスの感染状態は予断を許さない状況が続いているが、感染防止対策を十分に講じた上で、適宜オンライン授業の日を組み込みながら、原則として対面授業をしている。実習については、まだお引き受けいただけないケースもあるが、看護や介護、医療事務の実習では、実習先の病院や施設で希望する学生にワクチンを接種してもらえるケースも増えてきている。 ・本校を卒業する学生の多くは、ウイズコロナの状況下で医療機関、福祉施設等に就職することになる。感染防止の正しい知識と職業人としての自信を持って活躍してほしい。今後も教育上判断が難しい問題が起きてくると思うが、委員の皆様には、専門家の視点からご意見、ご提言をいただきたい、との挨拶が行われた。 <p><u>議題 2</u>：「前回委員会議事録の確認」(資料 1 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村学科長より前回の議事録について諮ったところ、修正意見はなく、原案のとおり確認された。

議題 3：「2021 年度の活動報告等について」

- ・ 2020 年度第 2 回委員会以降の主な経過（資料 2 参照）について、中村学科長より、資料 2 に基づき説明が行われ、確認、了承された。
- ・ 詳細は別紙のとおり

議題 4：「2020 年度第 2 回委員会における意見・提案に対する報告」

- ・ 中村学科長より、以下の 4 点に関する取り組み内容について報告が行われ、確認、了承された。

(1)2021 年度カリキュラム：

- ・ 漢方、栄養と食事、オンライン授業、入学後の学習への関心を高める視点からも興味をもって楽しく学べる工夫などを説明した。

(2)薬店実習：

- ・ 薬店実習の実施にあたり、委員からの提案があった、「実習の前にピッキングなどの資料を学生に説明しておく」、「接客での店舗の工夫（質問ノートなどの例）」などについても実習に取り入れてもらえるように、実習先と事前打ち合わせを実施した。
- ・ 実習後、学生による報告書の中に良かった点、改善点などを次回の会議で報告する。

(3)オンライン授業：

- ・ グループワークなど質問がしやすい授業形式などについて補足説明をした。

(4)登録販売者試験の合格率向上策：

- ・ 委員からのコメントがあった、「登録販売者試験に合格するには過去問題を多く演習することがポイントである」、「在学中に登録販売者資格を取得しておく、就職内定が優位になる」、「資格手当がつく」、「ドラッグストア店舗での重要な資格」などを、学生に認識させて試験を合格したいという意識向上の一つとして指導するようにした。
- ・ 詳細は別紙のとおり

議題 5：「2021 年度の教育活動と学科運営等に向けて」

- ・ 中村学科長、結城教員より、以下の項目について説明が行われ、確認、了承された。

(1)職業実践専門課程申請（～9 月末）

(2)学科としての新型コロナ感染防止のためのオンライン授業実施状況

(3)入学後の学習への関心を高めるための対策（高校生が興味を持つようなカリキュラム等）

(4)2022 年度入学生カリキュラム案他へのご意見伺い（特に、業界における協会、企業の立場から要望されるカリキュラム）

- ・ 詳細は別紙のとおり

議題 6：「次回日程、その他」

- ・ 中村学科長より、次回の予定議題の説明及び日程調整が行われ、2022 年 2 月 8 日（火）午前 10 時からとすることが決定した。

○次回予定議題

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・入学後の学習への関心を高めるカリキュラム（教科）についてのアドバイス・薬店実習の実施報告と改善点へのアドバイス・学科でのオンライン授業の検証報告と改善点へのアドバイス・登録販売者試験について（本年度の出題傾向の分析、合格率向上のためのアドバイス） |
|---|

以上

2021 年度第 1 回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会の主な討議内容

議題 3 : 「2021 年度の活動報告等について」の詳細 :

- ・ 2020 年度第 2 回委員会以降の主な経過 (資料 2 参照) について、中村学科長より、資料 2 に基づき以下の説明が行われた。
 - ①退学状況 (6 月 16 日時点)
 - ②就職内定状況
 - ・ 3 月卒業生は全員就職。
 - ③2022 年度学生募集状況
 - ④2020 年後期授業アンケート結果 : 資料 2 別添 A を参照
 - ・ 授業アンケートの結果は、おおむね良好な評価点数であった。
 - ⑤薬店実習
 - ・ 新型コロナウイルス拡大の関係で、7 月 26 日、27 日をオンライン研修と店舗見学、その他は 9 月以降に内容を変更して行う。
 - ⑥ホームカミングデー
 - ⑦オンライン授業の現況報告 (以後の議題で報告)
 - ⑧2021 年度東京都登録販売者試験申込み
 - ・ 試験日は 9 月 23 日 (木・祭日)。
 - ・ 今年度も、新型コロナウイルス拡大により、学生は東京都しか受験できず、相当のプレッシャーを感じていると思うが、「やるしかない」と覚悟して臨んでもらうことにしている

○居眠り防止についての質問・意見等

質問・意見等	回答等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 居眠り防止のアイデアについて、なにかご意見やアドバイスがあればお伺いしたい。 ・ 教師、講師の先生方にも、授業途中で休憩を入れる、授業内容に関係した面白いエピソード、アイスブレイクなどの工夫をお願いしているが、今回、委員からアドバイスをいただいた内容を確実に実施しながら、居眠り防止対策を今後も努力していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去問題集をやるときは、一人ずつ、順不同に解答を言わせてはどうか。 ・ 授業の中に休憩をいれるしかない。

議題 4 : 「2020 年度第 2 回委員会における意見・提案に対する報告」についての詳細 :

- ・ 中村学科長より以下の報告が行われた。
- (1)2021 年度カリキュラムについて :
 - ・ 漢方は、生薬や植物の絵を使ったりエピソードを話すなど、興味が湧くような工夫をしている。
 - ・ 栄養と食事は、実際に調理してみるなど、できるだけ楽しく実施するよう工夫している。
 - ・ オンライン授業は、クイズやゲームを取り入れたり、対面ではできない工夫をしたい。

- ・入学後の学習への関心を高める視点からも興味を持って楽しく学べる工夫に力を入れて、教員、講師の間で情報交換をしながら進めていきたい。

(2)薬店実習について：

- ・「現場での体験談」、「クレーム対応」、また委員からのアドバイスのあった、「ピッキングについて」、「質問に的確に答える工夫（質問ノート）」についての内容も取り上げていただくよう、お願いをした。

(3)オンライン授業について：

- ・「クイズ形式を毎回オンラインで実施している、ゲームを取り入れている」ことなども取り入れながら、対面ではできないようなこともオンラインでは可能であるので、今後もオンラインのメリットを生かせるよう工夫しながら、実施していきたい。

(4)登録販売者試験の合格率向上策：

- ・過去問題の演習を中心に、学生には順不同で解答させたり、演習問題の章（第1章～第5章）ごとの点数を各自で表にして、どこの章がまだ点数が低いかの確認や、総合点数の時系列の表やグラフなども使用しながら、日々、確実に実力が上がっていくことを自覚することで、勉学に励むツールとして利用している。
- ・委員からのアドバイスがあったように、登録販売者試験を合格した際のメリットについて、学生には機会あるごとに何回も繰り返して、意識の高揚の維持を持たせている。

議題5：「2021年度の教育活動と学科運営等に向けて」についての詳細：

- ・中村学科長、結城教員、渋谷教員より以下の説明が行われた。

(1)職業実践専門課程申請（中村学科長）

- ・9月末までに申請書類をそろえて提出する。

(2)学科としての新型コロナ感染防止のためのオンライン授業実施状況（結城教員）

- ・1年生も既に高校でオンライン授業を受けていたこともあり、特段ネットワークやデバイスの問題はなかった。
- ・内容は、動画配信、Zoomのブレイクアウトルームを使ったディスカッション、教材の送信などで、特に大きな問題なく実施できている。
- ・オンライン上のテスト、毎回の状況、来校時の提出物などで成果を確認している。
- ・1年生はサービス接遇検定への対応もオンラインで実施したが、全員合格した。

○オンライン授業についての質問・意見等

質問・意見等	回答等
<ul style="list-style-type: none"> ・学生はパソコンが多いのか、タブレットやスマホが多いのか。 ・オンラインが主流になってきて、対面と大差はないかと思う。 ・グループで分かれてディスカッションも取り入れているが、うまく交流できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生はほとんどパソコンかタブレットで、2年生はスマホが多い。 ・逆に、会ったときにいかにスペシャルな感じを出せるかに注力していく必要性が出てくると思う。 ・登録販売者試験の過去問題集の演習の授業で取り入れている。解答を班で話し合っ決めて、自分たちで問題を作る、グループごとに点数を競う等で、交流はうまくいっ

	<p>ていると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインと対面のどちらが、どんな点で効果があるかなどをいろいろな方面から検証していき、今後の改善につなげていく。
--	---

(3) 入学後の学習への関心を高めるための対策（高校生が興味を持つようなカリキュラム等）（中村学科長）

- ・オープンキャンパスに出てもらっている在校生（2年生）が夢を持ち、楽しそうにしているので、高校生に評判がよい。
- ・地道な学科紹介と体験授業で、学科の良さが少しずつ知れ渡ってきたのかと思う。
- ・AO入試の申込みが6月、7月にあることは今までなかった。コロナの状況下で健康にまつわる学科が高校生に受け入れられつつある感じを受けている。

(4)2022 年度入学生カリキュラム案へのご意見伺い（特に、この業界における協会の立場から、また企業の立場から要望されるカリキュラム）（渋谷教員）

- ・今年度の1年生から「東洋医学」と「現場で使える外国語（英語）」の2科目を追加した。
- ・来年度は、「パソコン演習」の復活と、登録販売者試験に関する科目を増やしている。
- ・新しい科目が増えたことにより、また薬店実習の開始により、ある程度カバーできる「OTC薬の基本と応対技術」、「校外見学」、「病院の仕組みと流れ」を削った。

oカリキュラムについての質問・意見等

質問・意見等	回答等
<ul style="list-style-type: none"> ・やはり、医薬品についての試験合格が第一優先と思うので、登録販売者試験に関する科目を増やすことは、良いと思う。 ・オンラインになって、コミュニケーションが取りにくいと言われている。オンライン面接の受け方、笑顔の作り方などをどこかの授業の中に入れていただくとよい。 ・学生が苦手としている「漢方」で試験勉強がつかずることが多いので、「漢方」については、1年生は基礎、2年生はその応用という形で対策するとよいのではないかと。 ・薬店実習のピックアップは何年生でやるのか。 ・就職先の選択肢が広がるので、もう少し早いほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリアデザイン」という就職活動を支援する授業の中で、オンライン面接の練習がある。学生が個別に面接の練習を申し込むこともできる。その場合は録画したものを本人に送っている。 ・テキスト第3章にある「漢方・生薬」が一つのキーポイントだと思う。今後もしっかりと教えていきたいと思っている。 ・最初は2月、3月を予定していたが、その時期は研修先が採用面接や新入社員教育で忙しい時期であり、また本校の事情で、授業に影響がないよう、春休み期間もしくは夏休み期間のどちらかになること及び学生の

<ul style="list-style-type: none"> ・業界でA I 技術が活用されているか。また、このぐらいは知っておいてほしいというところはあるか。 ・病気のことをしっかり教えたほうが役に立つか。 ・日本チェーンドラッグストア協会では、新型コロナウイルス感染拡大の前は地域での啓発活動をされていたが、現在では、どのような形で実施されているのか。 ・毎年、実施しているドラッグストアショーは、本学生も会場である幕張メッセに訪問して参加しているが、本年はオンラインでの実施となり、学生もオンラインで参加することになったが、来年の実施はどうでしょう。 	<p>医薬品の知識の修得度などを考慮して、7月に決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各社の取組はあると思うが、JACDS では、次世代部会という将来的なドラッグストアのあるべき姿等を検討する部会において、AI 技術がテーマとして上がっていて、これから検討していく。ドラッグストアの強みは対面でその人の状況を見極める力だと思う。また、オンラインで薬が買える時代になる可能性もあるので、安心と安全を取るか便利さを取るかが論点になってくると思う。 ・疾病より生活習慣のことを教えるとよいと思う。 ・コロナの感染によって予防に力を入れることが重要になってきたので、登録販売者の役割が大きくなっていくという話をすると、働きがいのある職業として注目されるのではないか。 ・感染拡大の前は、各地区で、健康測定機器を置いたり、簡単な運動をインストラクターを置いて腰痛予防や肩こり予防などを指導したり、ドラッグストア店舗でそれらの映像を流しながら、健康維持の活動をしていた。JACDS の支部と行政がタイアップして健康支援をできないか進めているところである。 ・本年、初めてのオンラインによるドラッグストアショー開催で心配していたが、思ったよりアクセスが多く、また評判がよかった。セミナーもいくつか実施し、画像を撮影してオンデマンド形式で実施する形式と生配信を2つ実施した。やはり日にちが固定されると参加できないという意見もあった。来年は、8月実施に延期して、オンラインとリアルの両方を融合したハイブリッド方式で実施するよう検討している。
--	---

以上